

國字水滸傳七編

上

歌川國芳畫

柳亭種彥譯

山神廟

林教頭風雪

第九回首



頭街橋絲

~ 13

3812

7

Gōkan: (No. 01
Kanagaki Suik
Part 2 Book 7



柳亭種彦譯
歌川國芳畫

文政
庚寅
販發

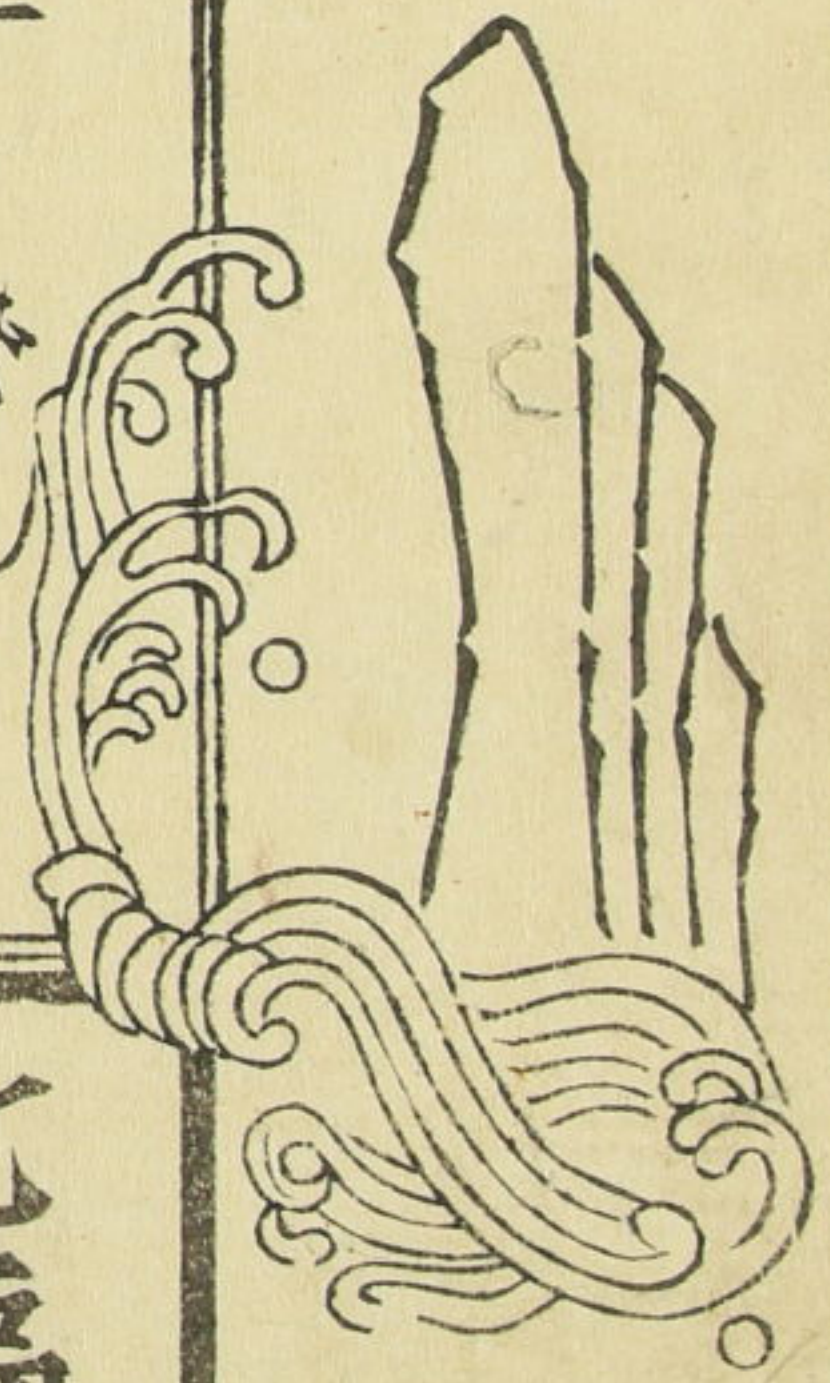
國字水滸傳

七編
上冊



通油町

僊鶴堂壽梓

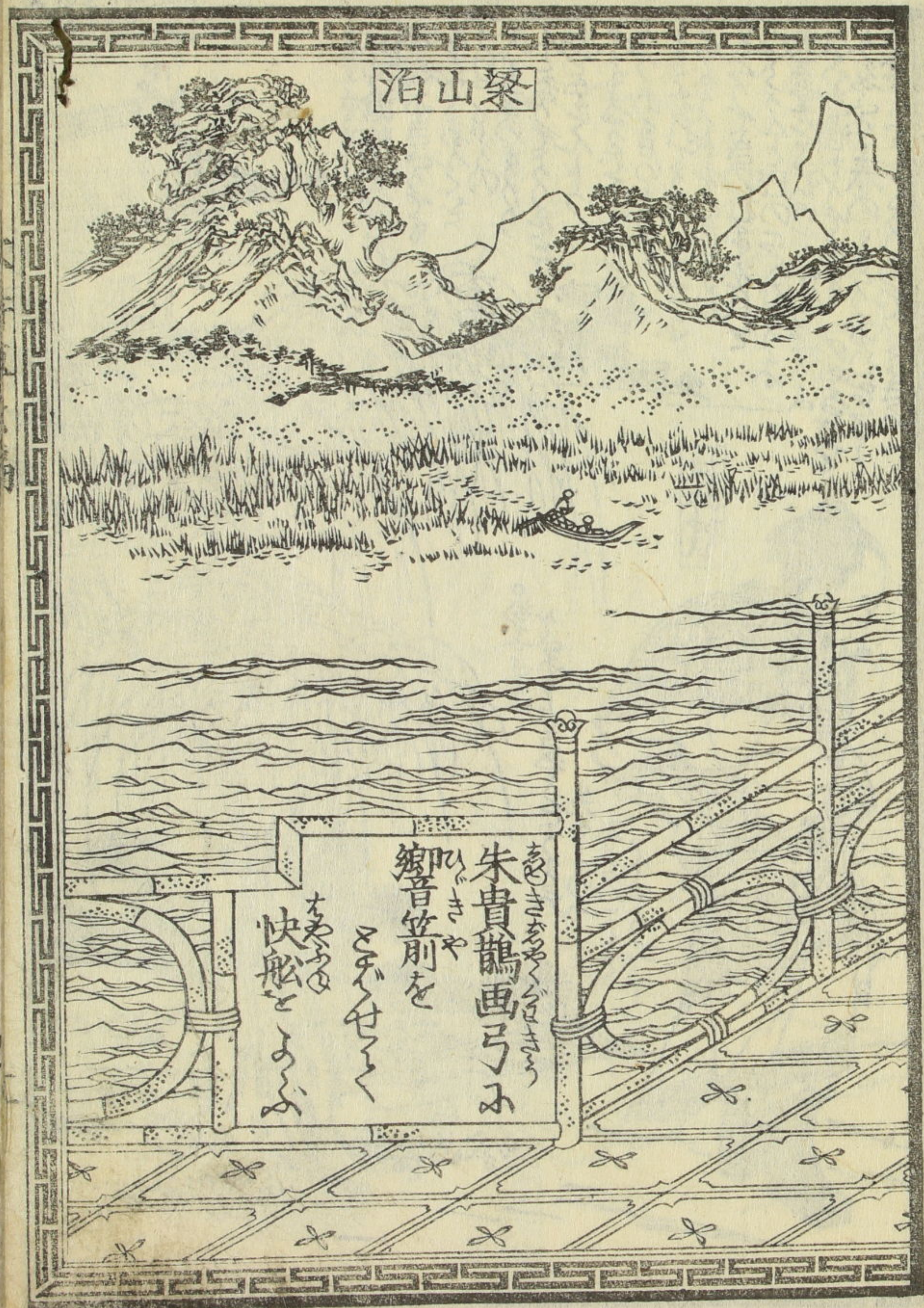


一

神史水滸傳楔子より六段迄の山東京山先生の譯を先生と
 今伯方の名家の著述を更書とて鐵筆と需るもの
 机下小啓処して少時の閑も得ぬ故稿本選たり利するもの
 書肆の嘆息し乎編の事と任は是正の山東の筆頭を以て
 柳亭の朽肉を賣計策を松魚の旨味候得ぬ文鯨魚の
 魚味と食類を不會より出るともわらむ予先生との舊年の
 相識原來婦女子の玩弄高手と勞えりつと速に承諾七錦
 繡の賞布と綴る看官鷹爪の後の苦茗を啜りあふちあらん
 文政庚寅發春
 柳亭種彦記

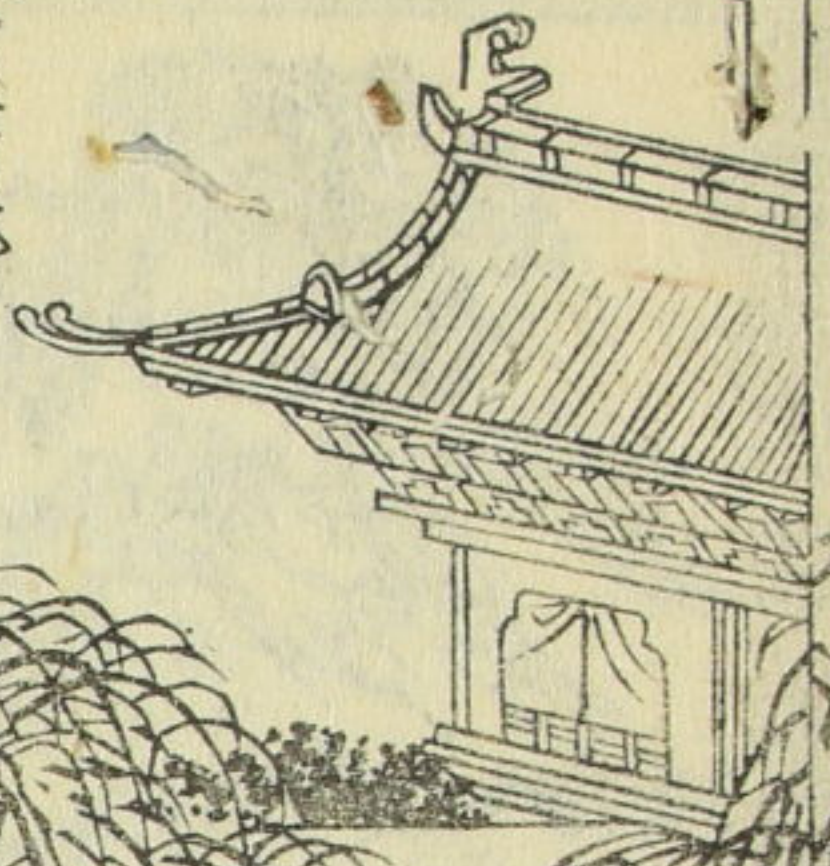
水滸傳二編

三



又海舟一巻

天王堂



林沖滄州のふるまひ
牢城のまじり
さまくまんと
うけつらみ
天王堂のまじり
人とのまじり
冬もあつた
くろあひのまじり
そとをまじり
あつたまじり
わづらひのまじり
ひとくんと
天王堂のまじり
ひとくんと
うまのまじり
うまのまじり



林沖



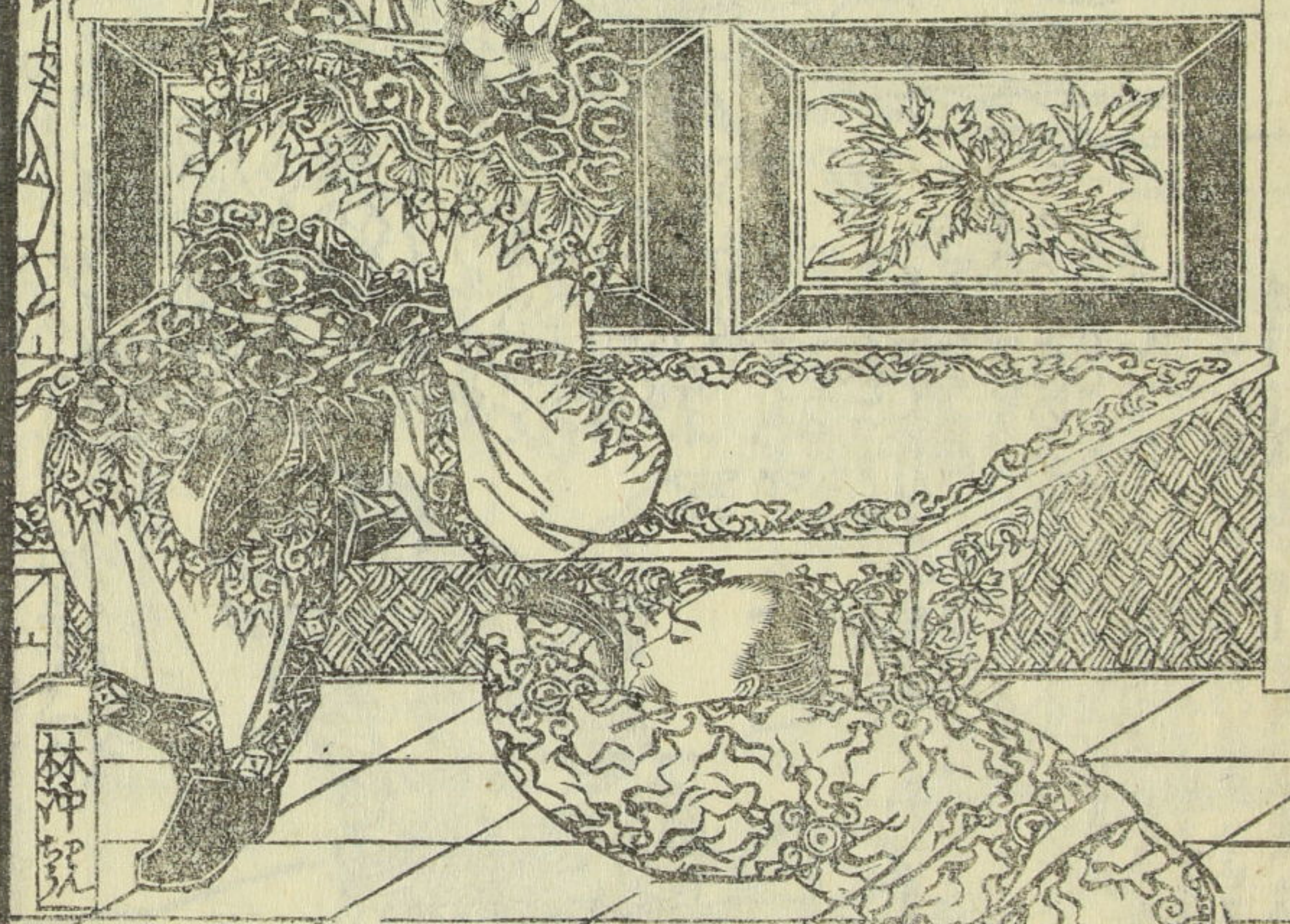
先きの
あつた
うま



天王堂のまじり
人とのまじり
冬もあつた
くろあひのまじり
そとをまじり
あつたまじり
わづらひのまじり
ひとくんと
天王堂のまじり
ひとくんと
うまのまじり
うまのまじり

先きの
あつた
うま

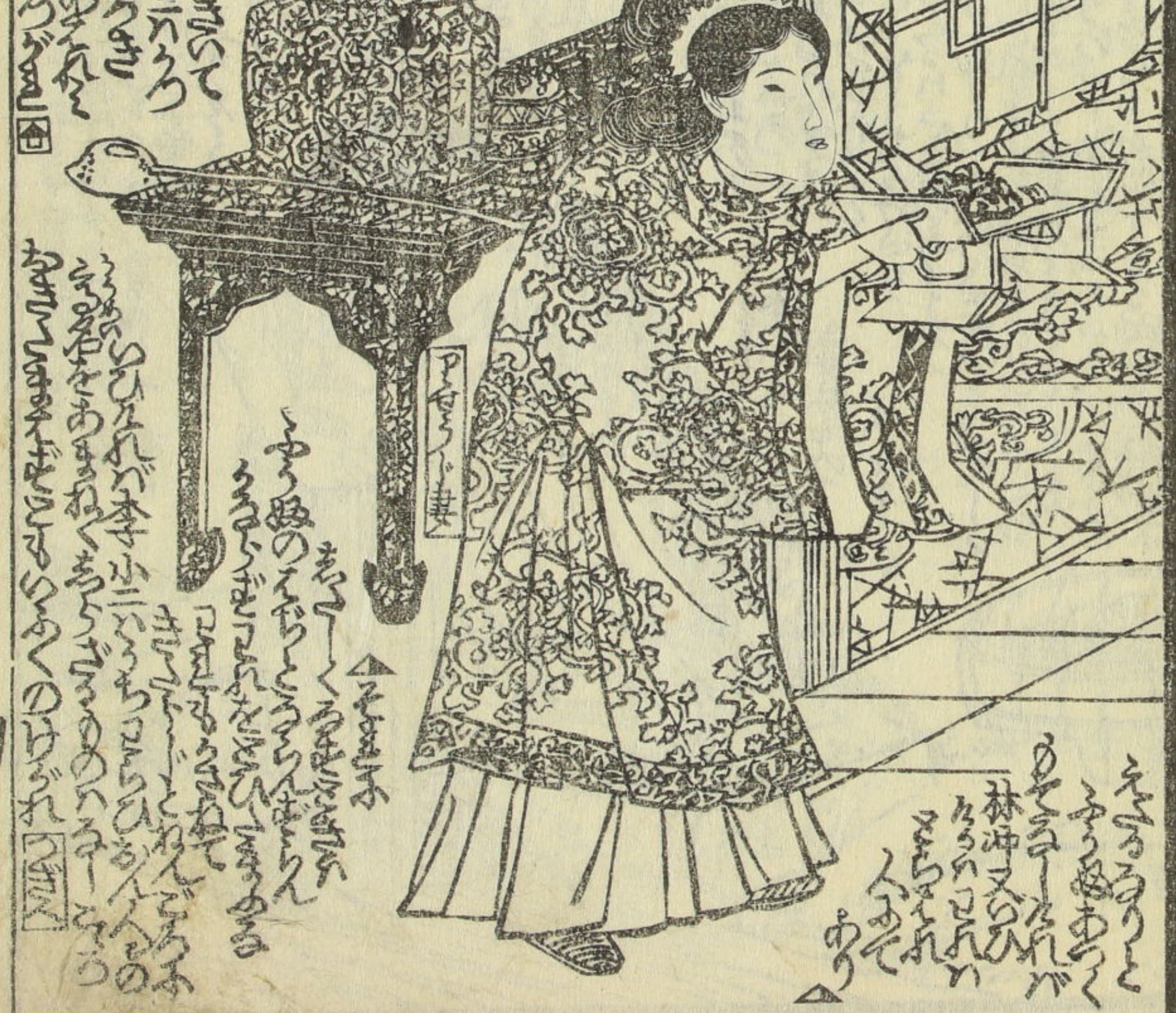
林沖のけさ... 李小二のけさ...
 李小二は... 林沖は...
 ...



李小二のけさ

林沖差扱の... 六編下巻の...
 ...

林沖のけさ... 李小二のけさ...
 ...



李小二のけさ... 林沖のけさ...
 ...

林冲の事は... 李小二の事は... 林冲は... 李小二は...



林冲

李小二

二の巻

李小二は... 春の... 陸謙...

林冲の事... 李小二の事... 林冲は... 李小二は...



李小二妻

林冲の事... 李小二の事...



林冲
花鎗を
草料場へ
おのむく



林冲
李小二
附口

千早八州

○江戸の六日
林冲李小二が
草料場の
大軍の
今も
老軍
おのむく

○江戸の十五日
大軍の
今も
老軍
おのむく

李小二

種彦彦譯



Multiple columns of vertical text in kuzushiji script, including a signature '林沖' (Lin Chong) and various names like '種彦彦譯'.

天保七年丙申春新彫 修紫田舎源氏

当年十八編より廿二編まで開板おのりずしき笑覽と程奉希の

柳亭種彦作

歌川國貞画

笠草仙果作

一筋道雪眺望 全四冊

歌川國芳画

椀久の十徳世話蒙求 全四冊

歌川貞秀画

種彦校合 仙客草拍琳作

井筒屋の瓶子 紫房紋及箱

歌川貞秀画

糸柳花縁結 全四冊

歌川貞秀画

Various vertical text on the left page, including '種彦校合', '井筒屋の瓶子', '紫房紋及箱', and '糸柳花縁結'.

第九回 尾

陸虞候火燒

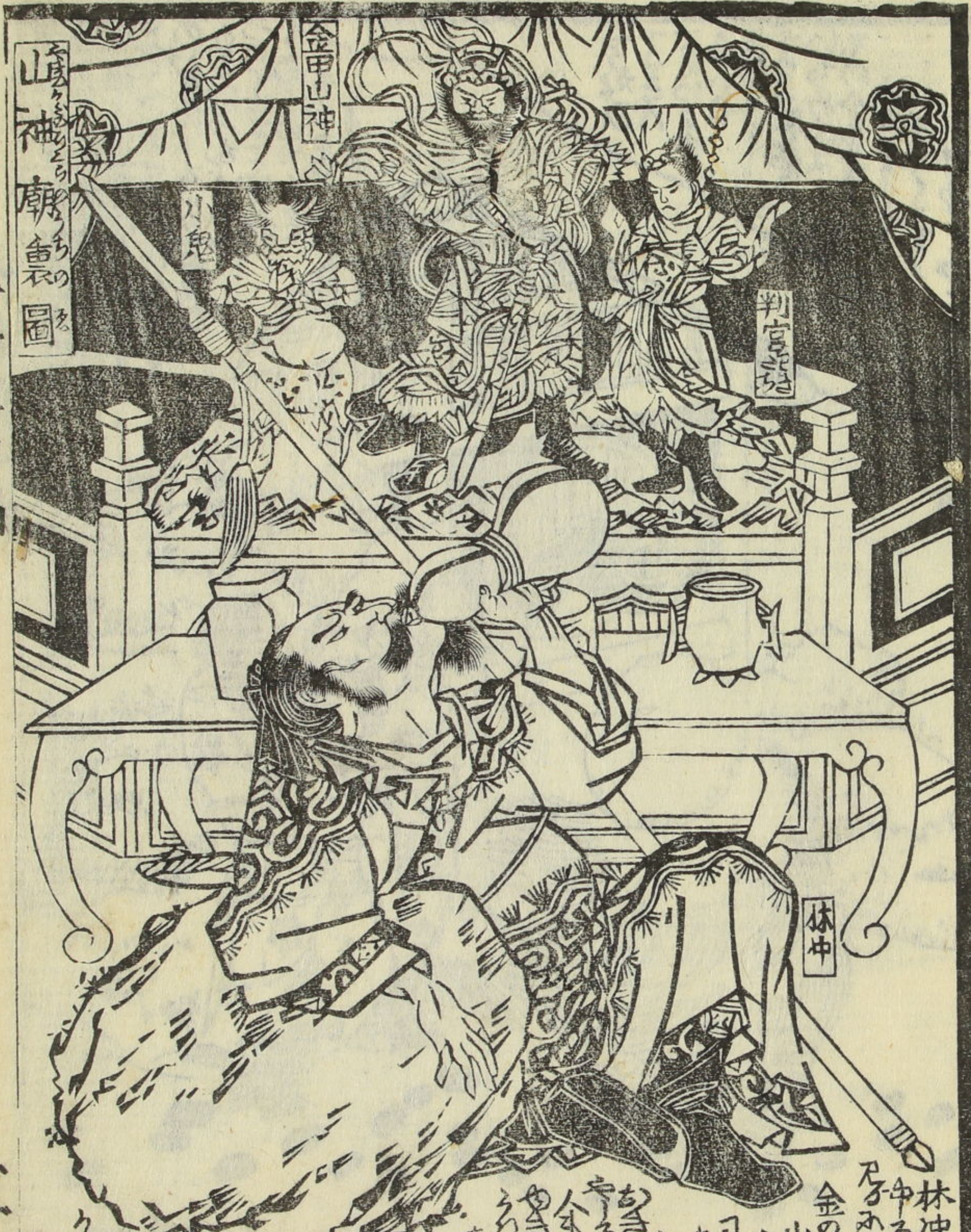
草料場

柳亭種彥譯

歌川國芳畫

國字水滸傳七編

下



山神廟裏の図

金甲山神

川鬼

林冲

林冲の内のうて
 金甲山神の
 川鬼の
 神の
 主人の
 おくすまひ
 のやうして
 くのしたてよる
 三編

國字水滸傳七編

柳亭種彦譯
文政庚寅春

歌川國芳画
下冊

繪本水滸傳舊板の寛政壬子の春京傳翁の譯ゆて
 大み世みかこるをそれう故めいぬる己丑の春京山子の
 新譯とこひふび梓は彫て既は初編より六編のうり
 まもく好評と賜ちる今年又種彦の譯これより次て
 十二編のうり画人のいんぐ精密の筆とるへ初編より
 かいしついでをやめ終るとん事と松壽堂主人 徳い
 まうそ

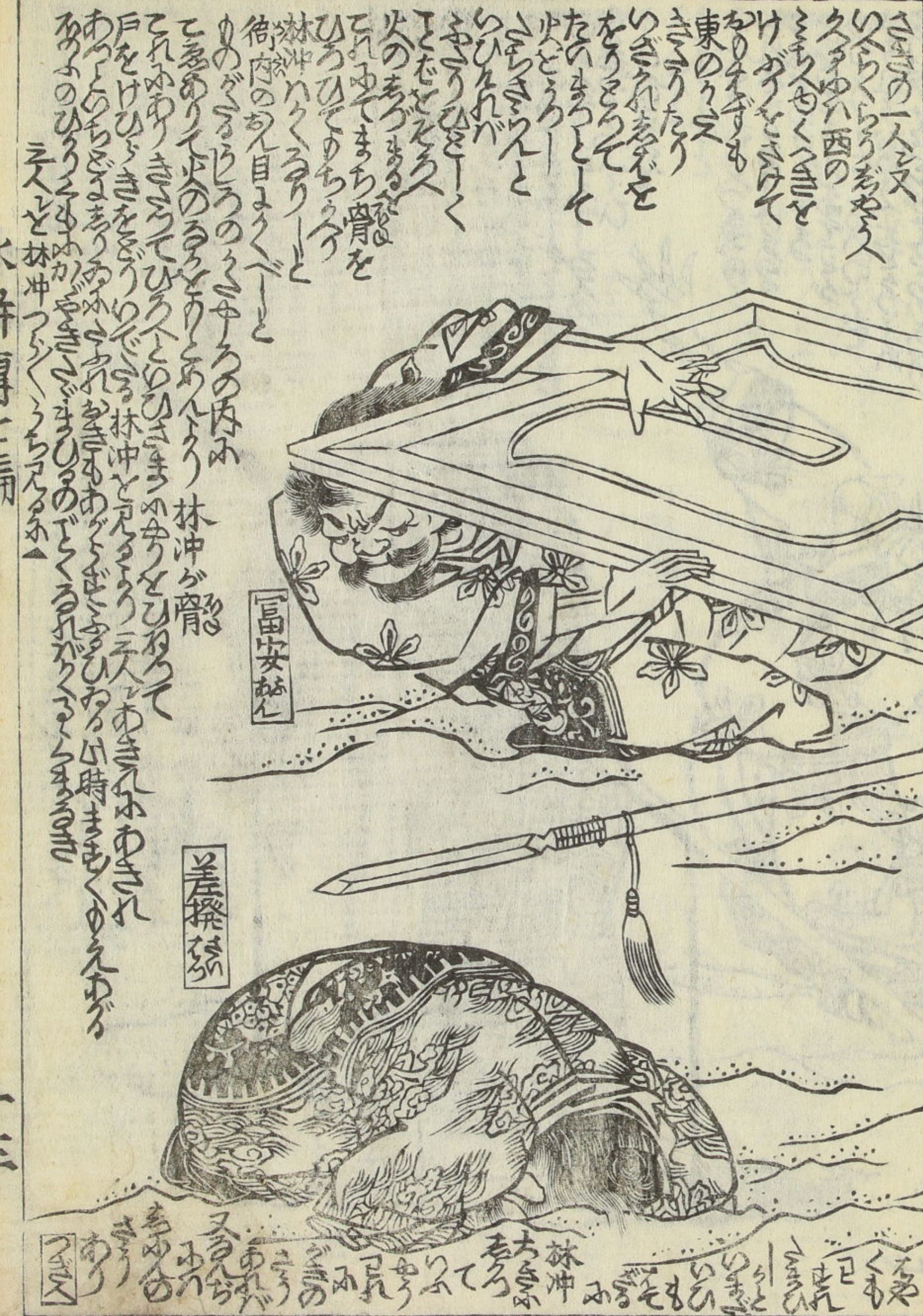
陸謙



今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま

二人の差探一人は陸虞候陸謙
一人は乾鳥頭富安
はるるちやうとをわさしはるるちやうと
トおもひちやうとをわさしはるるちやうと
林沖のあつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと
あつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと
あつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと
あつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと

林沖



今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま
今もいひ
るくま

二人の差探一人は陸虞候陸謙
一人は乾鳥頭富安
はるるちやうとをわさしはるるちやうと
トおもひちやうとをわさしはるるちやうと
林沖のあつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと
あつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと
あつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと
あつてはるるちやうとをわさしはるるちやうと

林沖

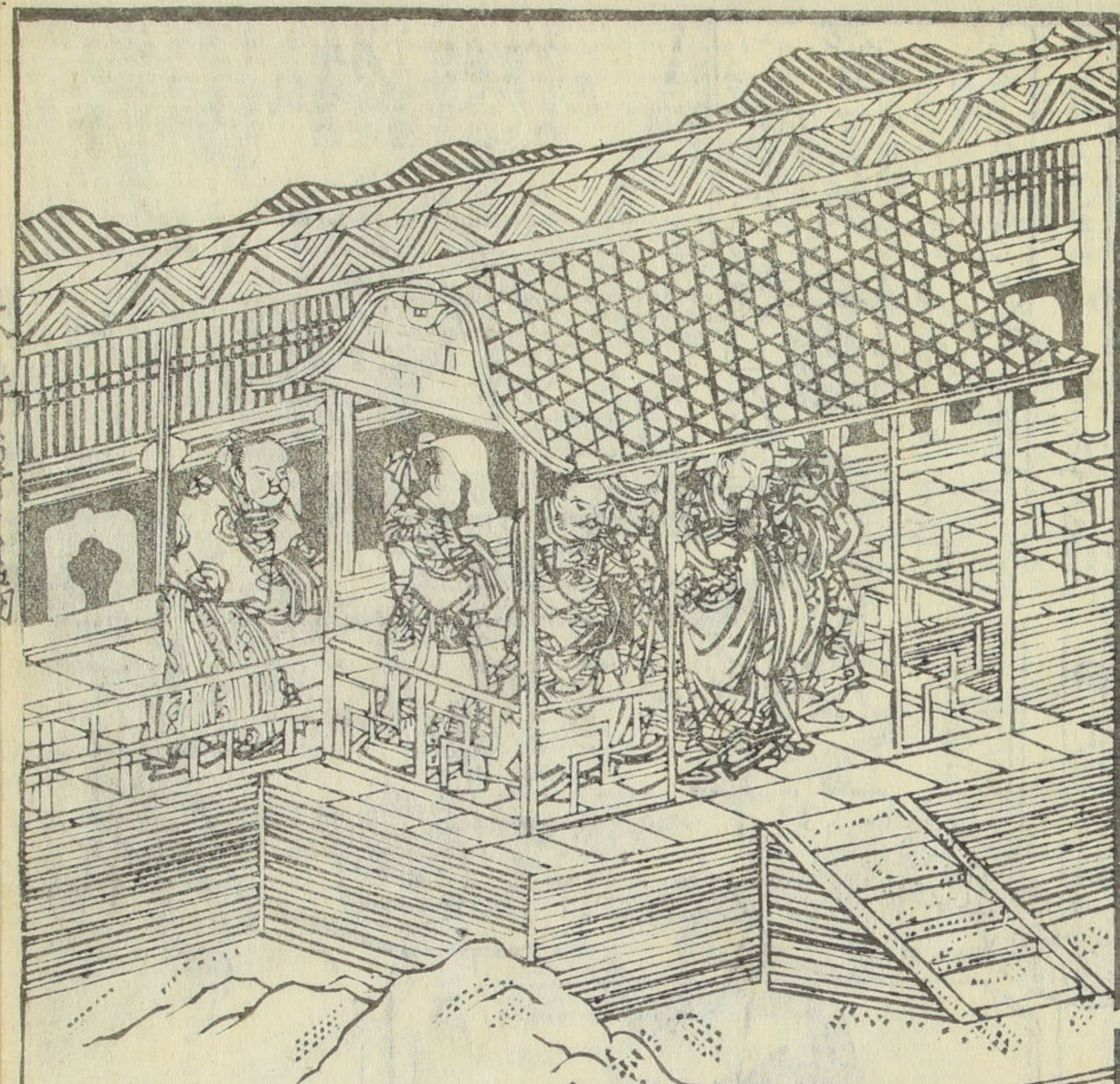
「さきの老人まきみいでしん
たりの工あり一がこるちんが
いんかこみあきうくの工しき
あしきほをこりまのまんと
いひとてけをまたまあ
あきまののりまきあり
いりのまきをるげつて
アキマの工くはひげと
まきしるひのまきあり

「さきのうちまきと
ちんかこみあきうくの工しき
あしきほをこりまのまんと
いひとてけをまたまあ
あきまののりまきあり
いりのまきをるげつて
アキマの工くはひげと
まきしるひのまきあり



「さきのうちまきと
ちんかこみあきうくの工しき
あしきほをこりまのまんと
いひとてけをまたまあ
あきまののりまきあり
いりのまきをるげつて
アキマの工くはひげと
まきしるひのまきあり

「さきのうちまきと
ちんかこみあきうくの工しき
あしきほをこりまのまんと
いひとてけをまたまあ
あきまののりまきあり
いりのまきをるげつて
アキマの工くはひげと
まきしるひのまきあり



「さきのうちまきと
ちんかこみあきうくの工しき
あしきほをこりまのまんと
いひとてけをまたまあ
あきまののりまきあり
いりのまきをるげつて
アキマの工くはひげと
まきしるひのまきあり



林沖の
 内内
 林沖の
 内内
 林沖の
 内内

英烈傳で
 柳食樹下
 七皇聚會の
 名のさし
 まうとゆ
 入る



林沖の
 内内
 林沖の
 内内
 林沖の
 内内
 林沖の
 内内

林沖の
 内内
 林沖の
 内内
 林沖の
 内内
 林沖の
 内内

新行の
 渡の
 平木
 製と
 入る
 うから
 入る

六許傳二編

歌川國芳画柳亭種彦譯

筆耕千形道友

柳亭好
新製清きる

形浅草市の日

黒船町
村田小玄流



天保七年申春新彫

山東京山作
琴声女房形氣 全四冊

歌川國貞画

五柳亭徳井作
森羅万象心意氣 全四冊

歌川國芳画

柳亭種彦作

八冊
浮波さし

歌川貞秀画

関亭傳次作
烏勘左衛門忠義傳 全四冊

歌川國芳画

宝田千町作

全四冊
稲葉山操の松枝

歌川國芳画

笠亭仙果譯

四冊
國字水滸傳 十四編

歌川國芳画

南條了所
三丁目西側
坂下氏製表
取決
橋本屋右衛門
美艷仙女香甲八羽
あしがほくまの
黒油美玄香甲八羽



書物錦繪
團扇地紙

江戸通油町

問屋鶴屋喜右衛門

